

## V 協議 議題2 今後のGLHSについて

### (1) グローバルリーダーの育成について

#### ◆ 進学指導特色校（GLHS）について

##### 事業目的

豊かな感性と幅広い教養を身に付けた、社会に貢献する志をもつ、知識の重要性が一層増すグローバル社会をリードする人材を育成する

##### 指定期間

平成23年度から平成25年度までの3年間

#### ◆ 近年のグローバル人材の育成についての各種会議におけるまとめ

##### ●産学官によるグローバル人材の育成のための戦略

（産学連携によるグローバル人材育成推進会議）H23.4.28

○グローバル人材とは、世界的な競争と共生が進む現代社会において、日本人としてのアイデンティティを持ちながら広い視野に立って培われる教養と専門性、異なる言語、文化、価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力と協調性、新しい価値を創造する能力、次世代までも視野に入れた社会貢献の意識などをもった人間であり、このような人材を育てるための教育が一層必要となっている。

##### ●グローバル人材育成戦略（グローバル人材育成推進会議審議まとめ）H24.6.4

○グローバル人材に必要な要素としては、「語学力・コミュニケーション能力」、「主体性・積極性、チャレンジ精神、協調性・柔軟性、責任感・使命感」、「異文化に対する理解と日本人としてのアイデンティティ」が含まれる。

○グローバル人材に限らずこれからの社会の中核を支える人材に共通して求められる資質としては、「幅広い教養と深い専門性」、「課題発見・解決能力、チームワークとリーダーシップ」、「公共性・倫理観、メディア・リテラシー」等があげられる。

○同一年齢の者のうち約10%が概ね20歳代前半までに1年間以上の留学ないし在外経験を有し、二者間、多数者間での折衝・交渉ができるレベルのグローバル人材の潜在的候補者となることをめざす。また、業務上の文書・会話ができるレベルのグローバル人材についても、相当程度の厚みのある人材層を形成することが必要となろう。

##### ●第2期教育振興基本計画 H25.6.14 閣議決定

○グローバル化が進行する社会においては、多様な人と関わり様々な経験を積み重ねるなど「社会を生き抜く力」を身に付ける過程の中で、未来への飛躍を担うための創造性やチャレンジ精神、強い意志を持って迅速に決断し組織を統率するリーダーシップ、国境を越えて人々と協働するための英語等の語学力・コミュニケーション能力、異文化に対する理解、日本人としてのアイデンティティなどを培っていく視点も今般一層重要になっているものと考えられる。

○グローバル化に対応した教育を行い、高校段階から世界で戦えるグローバル・リーダーを育てる。このため、語学力とともに、幅広い教養や問題解決力等の国際的素養を身に付けさせる教育を行う新しいタイプの高校（スーパーグローバルハイスクール）を創設する。

### (2) 協議・意見交換

#### ◆ 本日の論点

GLHSが育むべき要素とは？